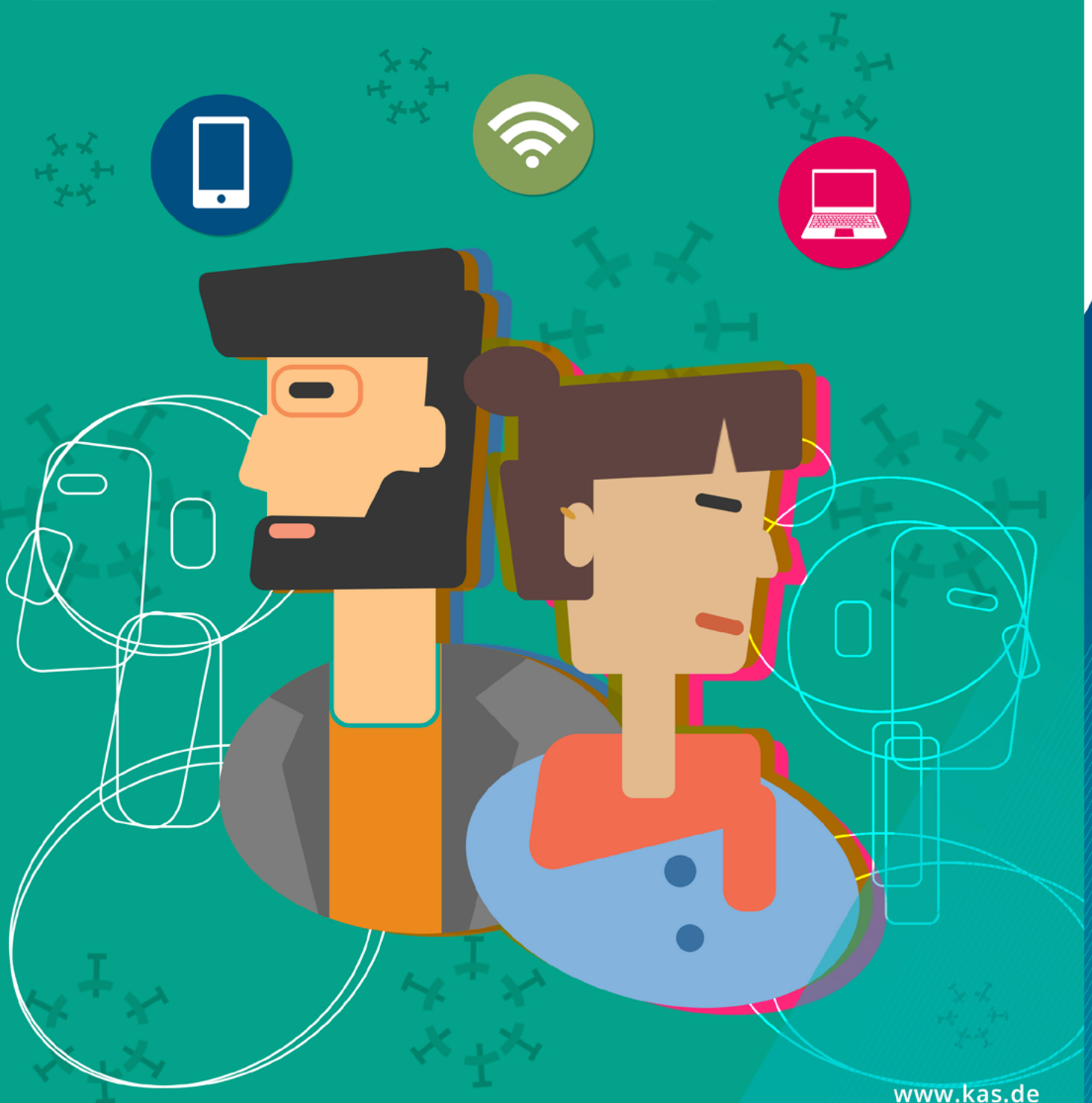


アジアの若者と働き方の未来

カントリープロフィール：ベトナム



アジアの若者と働き方の未来

カントリープロフィール：ベトナム

フエン・ゴック・タイン・チャン、ハ・ヴァン・ファム・ティ

目次

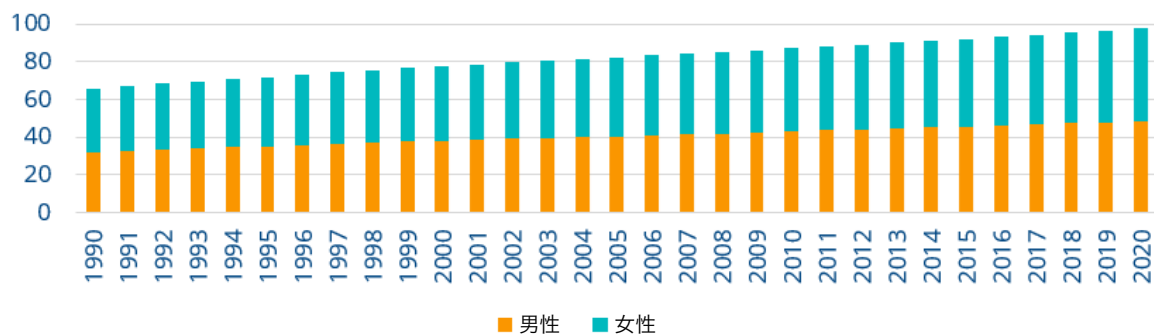
I. はじめに	1
II. ベトナムの若者の未来の労働における傾向	9
1. コロナによって影響を受け、変化した雇用市場	9
2. 国際貿易と世界経済統合の力強い成長	13
3. デジタル経済と自動化の進展	14
III. ベトナムの若者の課題	15
1. 労働市場へのアクセスの狭小化と不安定化	15
2. スキルアップと再教育の必要性	15
IV. 政策対応と提言	16
1. より多くの良質な雇用を創出し、起業家精神を支援する	16
2. 若者のスキルに投資する	18
3. 若者のためのキャリアサービスやアドバイスに投資する	20
4. 労働法、契約上の権利、義務に関する意識の向上	21
5. 適切な福祉・社会的保護制度の提供	22

I. はじめに

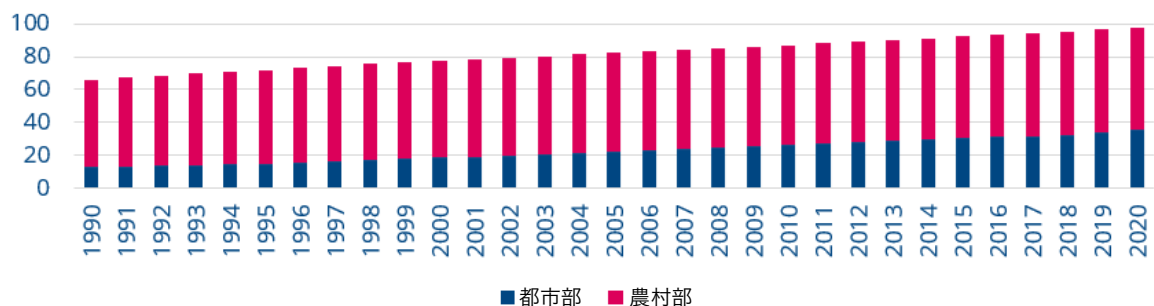
ベトナムは、過去 30 年間の目覚ましい発展により、世界の最貧国の一つから世界経済へのさらなる統合の可能性を秘めた低中所得国（lower middle-income country）へと変貌を遂げ、国際社会から多くの賞賛を受けている。新型コロナウイルス感染症（コロナ）危機において減速したものの、全体として、ベトナム経済は回復傾向にあり、ベトナム統計総局（GSO）によると 2020 年の GDP は 2.91% の成長を続けるとされている¹。

ベトナムは、比較的若い人口が多く、適切に活用すれば大きな経済的飛躍が期待できる「人口構造の黄金期」に入ったと言われている。GSO によると、2020 年時点の人口は 9,758 万人に達し、人口の 50.2% が女性で、63.2% が農村部に住んでいるとされている²。近年の人口増加は、労働力の増加につながり、ベトナムの社会経済的発展に寄与する外資を誘致する上で重要な競争力の優位性となっている。

ベトナムの男女別人口
(100万人)



ベトナムの地域別人口
(100万人)

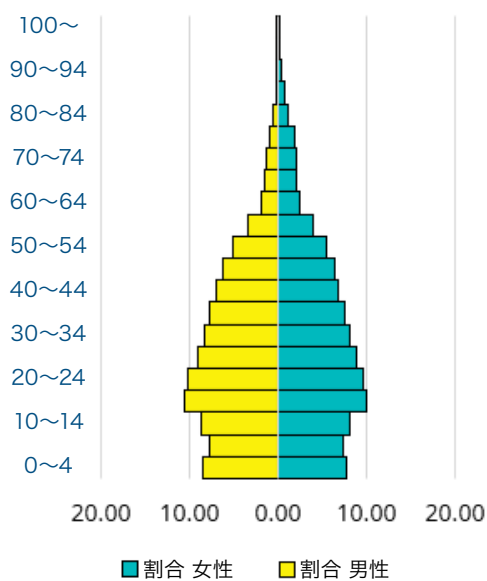


(出典：ベトナム統計総局 (GSO))

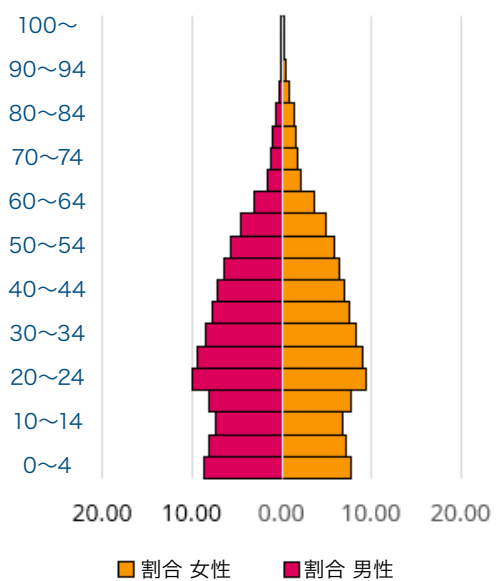
1 Vietnam's GSO: <https://www.gso.gov.vn/en/data-and-statistics/2021/01/socio-economic-situation-in-the-fourth-quarter-and-the-whole-year-2020/>
2 Vietnam's GSO: <https://www.gso.gov.vn/en/data-and-statistics/2021/01/infographic-population-labour-and-employment-in-2020/>

しかし、年齢構成を見ると、ベトナムの人口は高齢化社会への道を歩んでいることが分かる。ベトナムの人口ピラミッドの形は、2009年から2020年までの数年間で変化しており、人口の最も大きな部分が徐々に高年齢層へと移行している。2009年に15～24歳の人口が全人口の20%を占めていたとすると、2014年には17.5%、2020年には13.68%までその比率が縮小している。

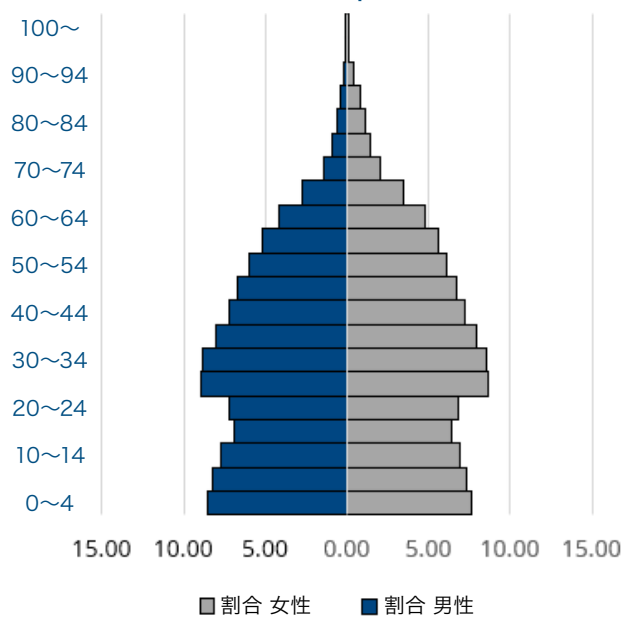
ベトナムの人口ピラミッド
2009年



ベトナムの人口ピラミッド
2014年



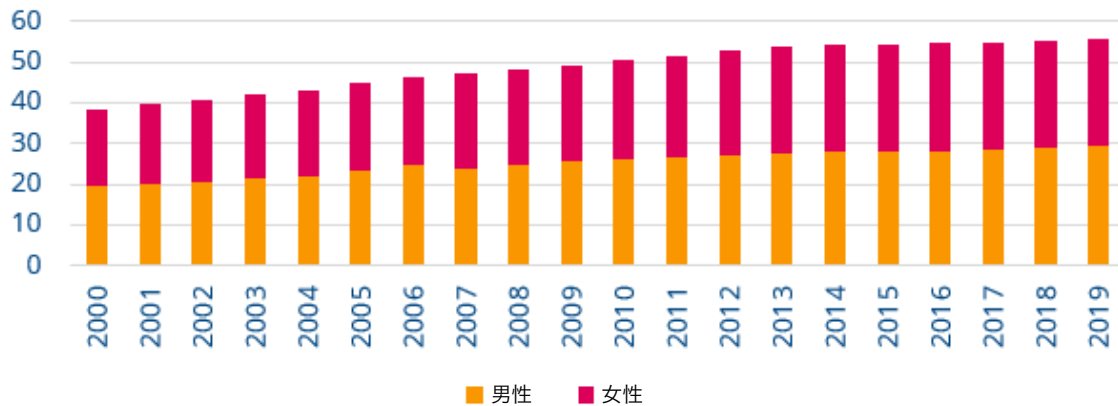
ベトナムの人口ピラミッド
2020年



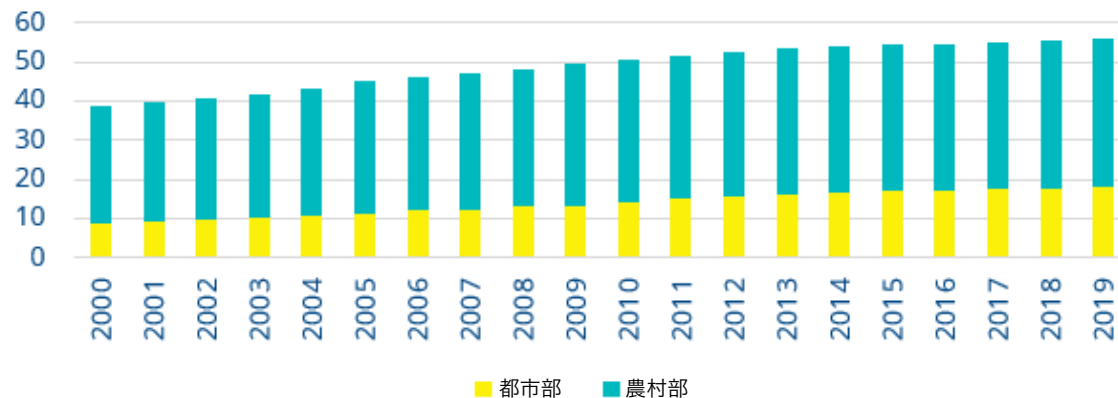
(出典：<https://www.populationpyramid.net/viet-nam>)

それでも、15歳以上の5,000万人を超えるベトナムの労働力は、ベトナム経済の成功の基盤となっている。

ベトナムの男女別の15歳以上労働力人口
(100万人)



ベトナムの地域別の15歳以上労働力人口
(100万人)



(出典：ベトナム統計総局 (GSO) - <https://www.gso.gov.vn/en/employment/>)

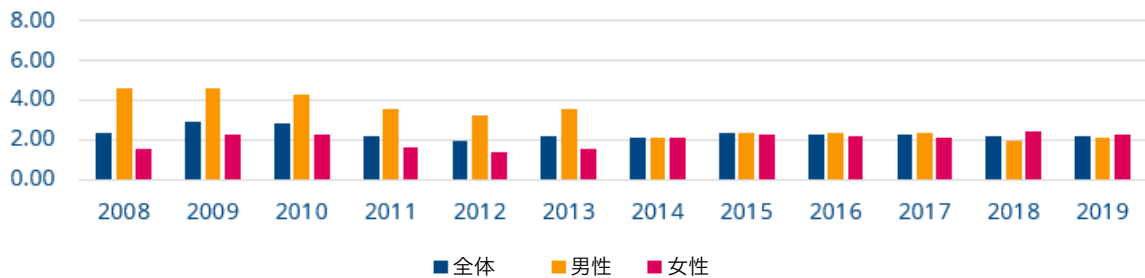
労働力の構成では、15歳以上の労働力人口の50%以上が男性であり、女性よりも男性の割合が高い。女性労働者の失業率は男性労働者に比べてかなり高いが、これは健康上の制約、出産と仕事の兼ね合い、出産後に満足いく仕事に就ける可能性が低いことなどが原因であると考えられる³。労働力の大部分は依然として農村部に集中しているが、この割合は2000年の76.9%から2019年には67.6%に減少している。

また、GSOによると、2020年時点で非公式部門で働く労働者数は2,030万人で、雇用全体の56.2%を占め、2019年に比べて11万9,100人増加し、公式部門で働く労働者数は1,580

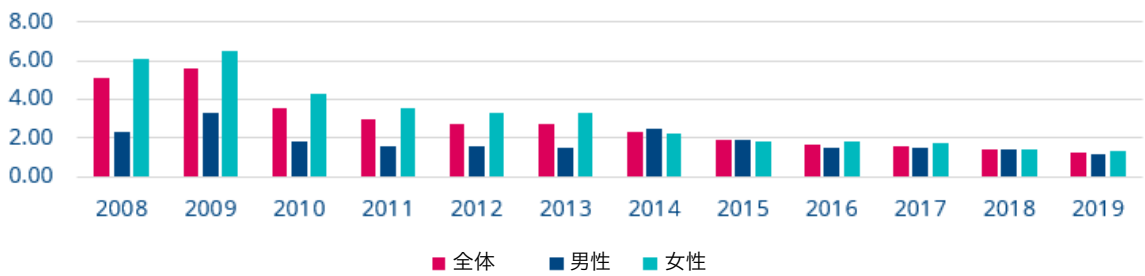
3 The situation of Vietnamese labor force and proposed issues, The Online Finance Magazine: <https://tapchitaichinh.vn/nghien-cuu-trao-doi/thuc-trang-luc-luong-lao-dong-viet-nam-va-mot-so-van-de-dat-ra-302133.html>

万人で2019年に比べて2万1100人減少している。このような非公式部門での労働者の割合の増加は新型コロナウイルス（コロナ）の影響によるものであり、経済が多くの困難に直面し、企業が労働力を削減し、季節労働者を採用せざるを得ず、その結果正規雇用者が減少し、非正規労働者が増加したためだと言われている⁴

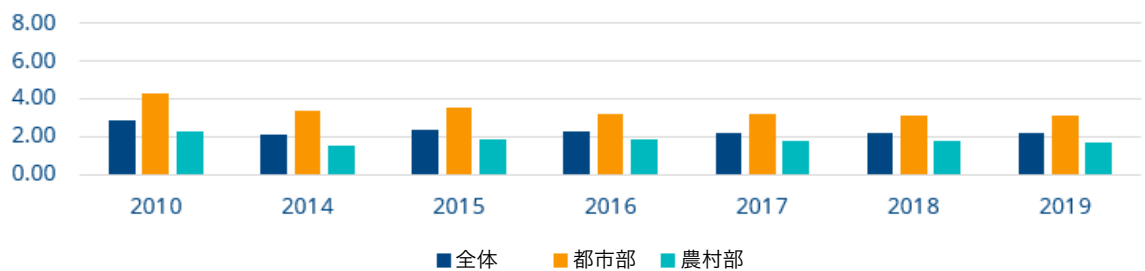
ベトナムの男女別失業率



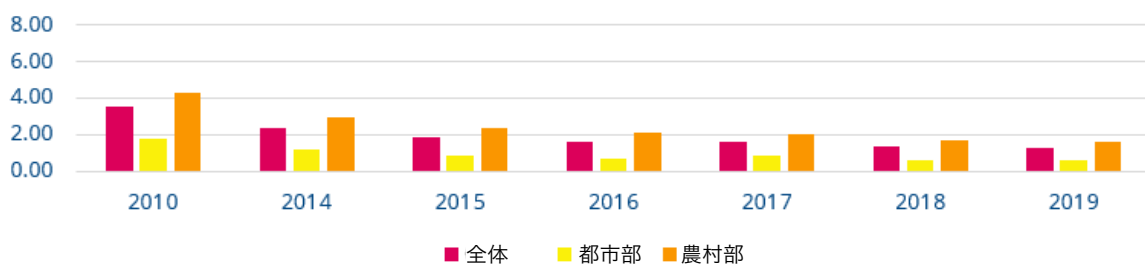
ベトナムの男女別不完全雇用率



ベトナムの地域別失業率



ベトナムの地域別不完全雇用率

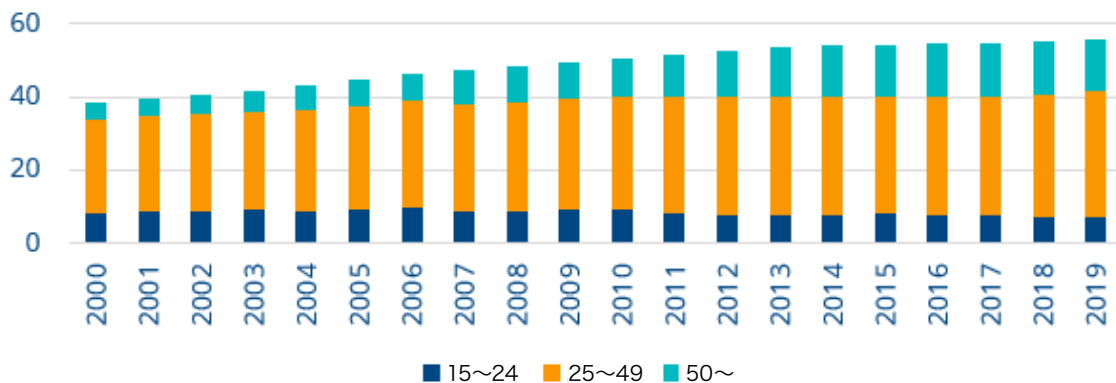


(出典：ベトナム統計総局 (GSO) - <https://www.gso.gov.vn/en/employment/>)

4 Vietnam's GSO, Covid-19 Impacts on Labor and Employment Situation in Quarter IV of 2020: <https://www.gso.gov.vn/en/data-and-statistics/2021/01/covid-19-impacts-on-labour-and-employment-situation-in-quarter-iv-of-2020/>

労働年齢層の労働者全体の失業率は 2.17%（2019 年）で、性別に注目すると男性は 2.09%、女性は 2.26%、地域別に見ると都市部は 3.11%、農村部は 1.69%となっている。労働年齢層における労働者の不完全雇用率は 1.27%（2019 年）で、そのうち男性は 1.19%、女性は 1.37%、都市部は 0.63%、農村部は 1.59%である。GSO によると、ほとんどの不完全雇用者は技術や専門的な訓練を受けていない。労働者の専門的・技術水準が高ければ高いほど、不完全雇用率は低くなる。専門的・技術的資格を持たない労働者の労働年齢における不完全雇用率は 2.87%で、初等レベルの教育 2.25%、中等レベルの教育 1.58%、短期大学レベル 1.52%、大学以上が 1.04%である⁵。

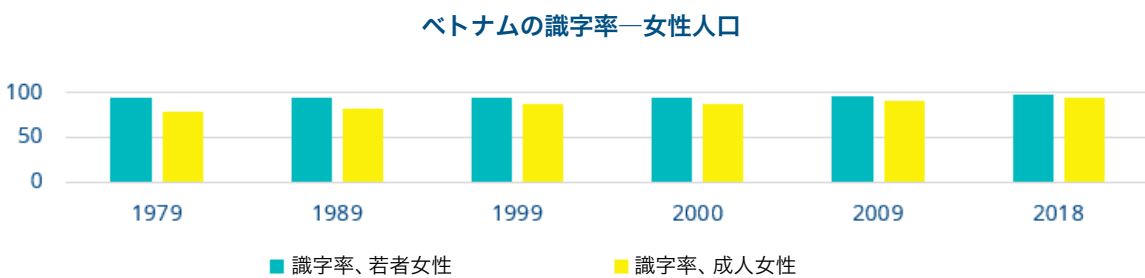
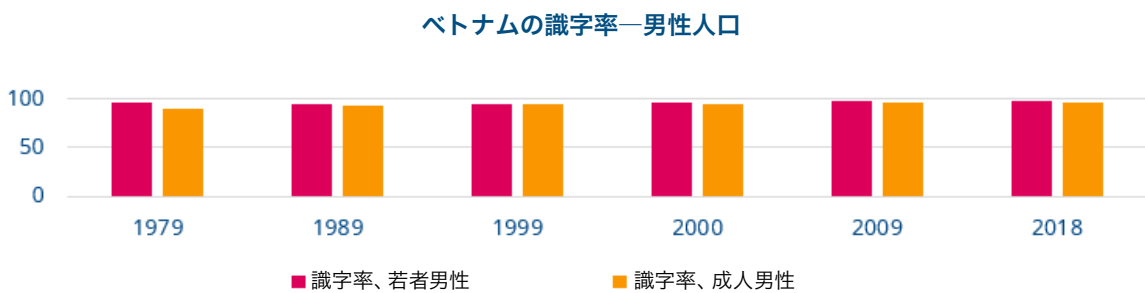
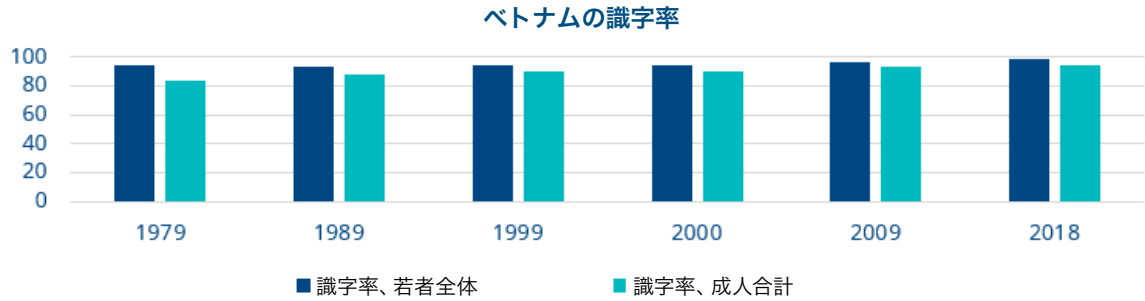
ベトナムの年齢別労働力人口
(100万人)



(出典：ベトナム統計総局 (GSO) - <https://www.gso.gov.vn/en/employment/>)

高齢化が進み、15 歳から 24 歳の若者の割合は年々減少しているが、ベトナムの労働力人口に占める 15 歳から 24 歳の若者の割合は 10%を超えており、若者は重要な位置を占めている。若い労働力は、健康、柔軟性、新技術への適応性、機動性などの利点があることが多い。彼らが十分な教育や職業訓練を受ければ、ベトナムの経済発展に大きく貢献することができるだろう。これは非常に有利な要素であるが、同時に雇用創出や職業訓練に大きな圧力を与えている。

5 脚注 4 参照



(出典：世界銀行、データはユネスコ統計局より取得 - <https://data.worldbank.org/indicator/SE.ADT.LITR.ZS>)

識字率については、ベトナムの若者は常に一般国民より高く、2018年は98.4%となっている。この数字は、若者男性が98.46%、若者女性が98.35%である。若者女性と成人女性の識字率の差は男性よりも開いているが、近年はその傾向が弱まっている。

15歳以上の労働者が研修を受けたことのある割合、年齢層

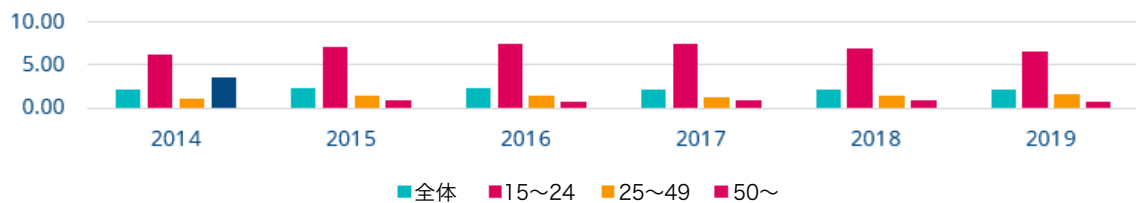
	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
合計	14.8	14.6	15.4	16.6	17.9	18.2	20.4	20.9	21.6	22	22.8
15～19	2.2	1.3	1.6	1.9	2.2	1.9	1.8	2	1.4	1.8	1.3
20～24	16.7	14.8	16.9	19.7	23	23.4	29.1	28.5	27.8	26	25
25～29	23.3	23.8	25.2	27	29.2	30.1	33.9	35.8	37	38.3	37
30～34	18	20	21	22.6	26	26.6	30.1	31	31.9	33.3	34.8

35～39	13.3	13.9	15.2	17.3	18.6	19.7	22.5	23.8	26.4	27.6	30.7
40～44	12.2	12	13	13.9	14.6	15	16.7	17.3	19.1	19.7	21.7
45～49	14.2	13.1	13.7	13.7	13.7	14.2	14.6	14.8	15.6	15.5	15.6
50～	11.6	11.6	12.2	12.5	13.2	12.8	12.8	12.6	12.9	13.1	11.7

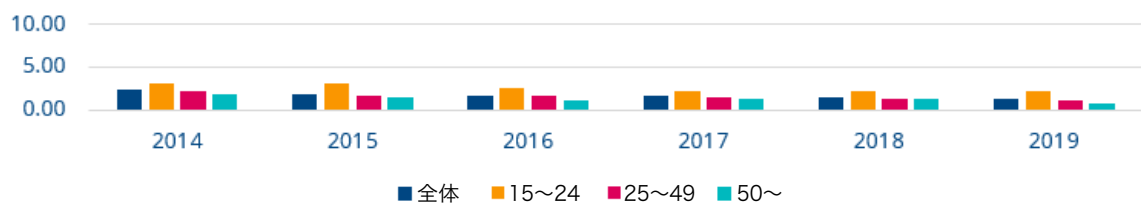
(出典：ベトナム統計総局 (GSO) - <https://www.gso.gov.vn/en/employment/>)

GSOによると、研修活動を受けた労働力は全体の20%程度に過ぎない。この数字は、15～19歳では約1.3% (2019年)、20～24歳では25% (2019年)である。研修活動を受けたとは、国家教育制度内のいずれかの機関で専門的または技術的な研修を3ヵ月以上受講し、修了し、特定の専門的または技術的な資格の修了証書または証明書を付与されたことと定義されている。このように、ベトナムの人材は若く豊富であるが、その多くは未熟練であり、技術的な専門知識にも乏しい。この傾向は、若年層についても同様である。

ベトナムの年齢層別失業率



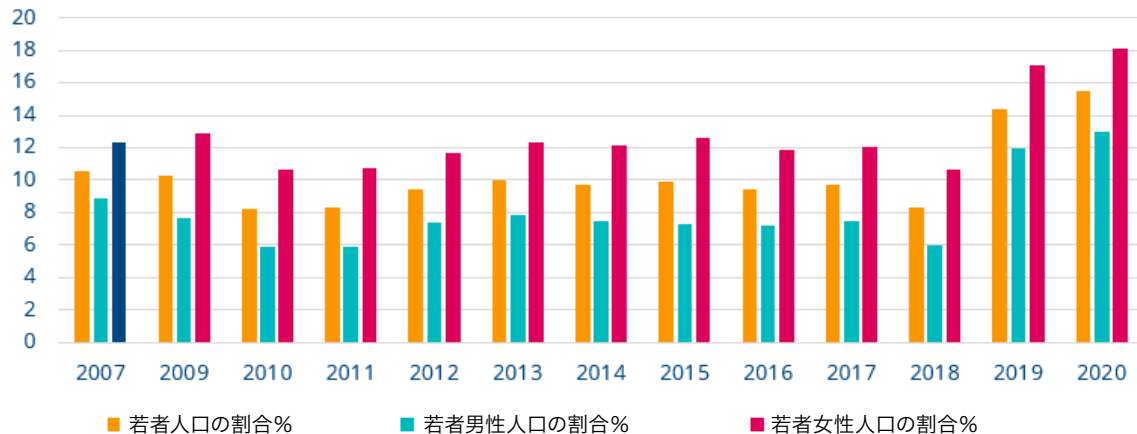
ベトナムの年齢層別不完全雇用率



(出典：ベトナム統計総局 (GSO) - <https://www.gso.gov.vn/en/employment/>)

15～24歳の若者の失業率と不完全雇用率は年齢層の中で最も高く、2019年の失業率は6.51%、不完全雇用率は2.19%である。

ベトナムで教育、雇用、研修を受けていない若者の割合



(出典：世界銀行、データは国際労働機関 (ILO)、ILOSTAT データベースより取得 - <https://data.worldbank.org/indicator/SL.UEM.NEET.ZS?locations=VN>)

さらに詳しく見ると、教育、雇用、研修を受けていない若者の割合は年々増加しており、国際労働機関 (ILO) によると 2020 年には 15.47% に達している。この傾向は、若者人口全体に占める割合と、若者人口の男女比の両方に反映されており、教育、雇用、研修を受けていない若者女性の人口の割合 (18.12%) は、若者男性のそれ (12.99%) よりもはるかに高くなっている。

以上のことから、ベトナムの若者についてより深い分析を行い、この部門におけるより良い労働の未来を確保するための包括的な戦略を打ち出すことが不可欠である。それが本カントリープロフィールの目的であり、本カントリープロフィールは 4 つのパートから構成されている。第 1 部では、ベトナムの状況、労働力の人口統計、特に若者の労働力について概説する。第 2 部では、ベトナムの若者の未来の働き方の傾向について、第 3 部では、ベトナムの若者が労働市場で直面する課題について論じる。最後に、若者の未来の労働を支援するための政策対応と提言を示す。

若者の定義は、状況や研究の主体によって異なる場合がある。複数の国連機関、文書、地域組織は、以下の例のように、若者について多少異なる定義をしている。

国連機関、文書、組織	年齢	出典
国連事務局、国連教育科学文化機関 (UNESCO)、国際労働機関 (ILO)	ユース (Youth) : 15 ~ 24 歳	国連文書、統計
国連人間居住計画 (UN Habitat) (Youth Fund)	ユース (Youth) : 15 ~ 32 歳	アジェンダ 21
国連児童基金 (UNICEF)、世界保健機関 (WHO)、国連人口基金 (UNFPA)	青少年 (Adolescent) : 10 ~ 19 歳 若者 (Young People) : 10 ~ 24 歳 ユース (Youth) : 15 ~ 24 歳	国連人口基金 (UNFPA)
国連児童基金 (UNICEF)、児童の権利に関する条約 (子どもの権利条約)	子ども : 18 歳未満	国連児童基金 (UNICEF)
アフリカ・ユース憲章 (African Youth Charter)	ユース (Youth) : 15 ~ 35 歳	アフリカ連合、2006年

(出典：国連が定める若者の定義 - <https://www.un.org/esa/socdev/documents/youth/factsheets/youth-definition.pdf>)

混乱を避けるため、本カントリープロファイルでは、次の国連の定義に従って若者を定義する：「国連は、統計上の目的により、加盟国による他の定義を害することなく、15 歳から 24 歳までの者を若者と定義する。」

II. ベトナムの若者の未来の労働における傾向

若者の未来の労働における傾向は、経済のデジタル化と自動化とともに、より多くの外国投資と国際条約の導入につながるグローバル化と国境を越えた統合の影響が多かれ少なかれある。また、現在のコロナの世界的流行も、若者の雇用市場に大きな影響を及ぼしている。

1. コロナによって影響を受け、変化した雇用市場

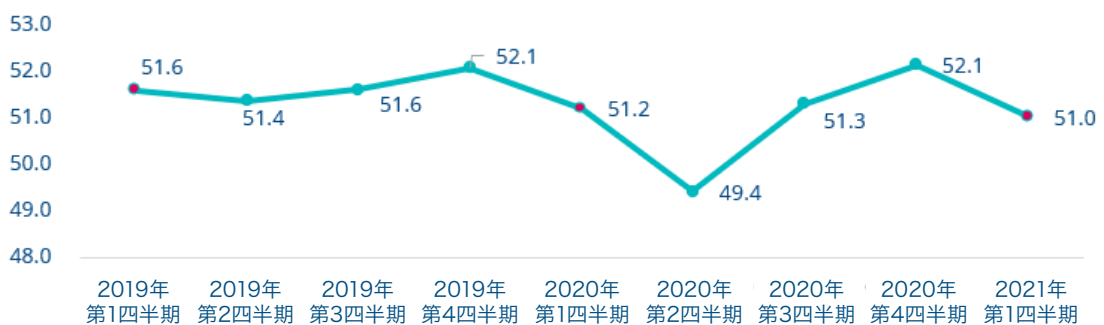
ベトナム経済の概要として、2020 年第 4 四半期の GDP は、2019 年第 4 四半期と比較して 4.48% の増加と推定され、2011 年から 2020 年の間の増加率としては最低となった。2020 年通年の GDP は 2.91% 増となった。第 4 四半期は、小売販売、消費財、宿泊・飲食サービスなどを含む、コロナの影響を大きく受けた業種が明るい兆しを見せた。2020 年第 4 四半期の労働・雇用情勢は、前期と比較して改善の兆しが多く見られたが、特に第 4 四半期および 2020 年全体の従業員の労働・所得に関する指標は、前期と比較して依然として低い水準にある⁶

6 脚注 4 参照

2020年、ベトナムでは15歳以上の3,210万人がコロナによる負の影響を受けた。

2020年12月時点で、職を失った人、休職や輪番休暇を取らなければならない人、労働時間の短縮、収入の減少など、コロナによって負の影響を受けている15歳以上の人は3,210万人いる。その3,210万人のうち、収入が減った人は69.2%、労働時間の短縮・休暇・輪番休暇を余儀なくされた人は39.9%、休業・一時休業に追い込まれた人は約14.0%であった。コロナの影響を最も受けたのはサービス業で71.6%、次いで工業・建設業で64.7%、最も影響が少なかったのは農業・林業・水産業で26.4%だった。⁷

四半期ごとの労働力人口、2019～2021年の期間



単位：100万人
(出典：ベトナム統計総局 (GSO) (2021年))

2021年第1四半期末までに、ベトナムでは依然として15歳以上の910万人が新型コロナウイルスによる悪影響を受けている。

経済回復に向けた取り組みと感染予防・制御が相まって、国内の労働・雇用状況はいくらか改善されたが、2021年第1四半期には、ベトナムでは依然として15歳以上の910万人がコロナによる悪影響を受けている。この影響を受けた人々のうち、54万人が職を失い、280万人が生産や事業を一時的に停止・中断しなければならず、310万人が労働時間を減らされたり、休暇や輪番休暇を余儀なくされ、650万人が収入を減らされた⁸。

7 脚注4参照

8 Vietnam's GSO, Report on the impacts of Covid-19 on labor and employment situation in the first quarter of 2021, 16 April 2021, available at <https://www.gso.gov.vn/du-lieu-va-so-lieu-thong-ke/2021/04/bao-cao-tac-dong-cua-dich-covid-19-den-tinh-hinh-lao-dong-viec-lam-quy-i-nam-2021/>

コロナは解雇を招き、多くの人々が非公式雇用になることを余儀なくされた⁹。

失業状況については、2020年第4四半期の15歳以上の就業者数は約5,400万人で、2019年同期より94万5,000人減少した。15歳以上の就業者のうち、都市部の就業労働者は1,760万人で9万200人減少、農村部の就業労働者は3,590万人で、前年同期に比べ85万4,300人減少した。コロナにより、2020年第4四半期の労働者の失業率は、過去10年間の同時期と比較して最も高いものとなっている¹⁰。

非公式部門の増加については、2020年の非公式労働者数は2,030万人で、11万9,100人増加した。公式雇用の従業員数は1,580万人で、2019年に比べて2万1,100人減少した。2020年の非公式労働者の割合は56.2%で、2019年に比べて0.2ポイント高い。

2020年の非公式労働者の割合の高さは、近年の減少傾向とは対照的である。コロナ以前、2016年から2019年の間、公式労働者の増加率は非公式労働者の増加率の1.6倍であり、非公式労働者の割合は年々減少している。しかし、コロナは経済に複数の課題をもたらし、多くの企業は、労働者数の削減、輪番休暇の適用、季節労働者や派遣労働者の採用など、経営維持のための対策を適用するため、操業停止を余儀なくされている。その結果、公式労働者が減少して非公式労働者が増加し、2020年には非公式労働者の数が逆戻りすることになった¹¹。

2019年と比較すると、2020年の従業員の平均月収は減少した。

2020年、従業員の平均所得は550万ベトナムドンで、2019年と比較して2.3%減少した。サービス部門の労働者の所得が最も低下し、次いで農林水産部門の労働者の所得、その後工業・建設部門の労働者の所得が続く¹²。

9 ベトナム統計総局（GSO）の定義に基づき、非公式労働者（非公式経済の労働者ともいう）とは、非農業部門の雇用、事業者登録のある農林漁業就業者世帯で、次の4つの労働区分のいずれかに該当する者を指す。(i) 寄与的家族従業者、(ii) 非公式経済部門における自らの事業生産単位に関わる雇用主・所有者及び自営業者、(iii) 労働契約のない給与所得者、または労働契約はあっても雇用主による社会保険料の負担義務のない者、(iv) 社会保険料の義務のない生産協同組合の組合員。

10 脚注4参照

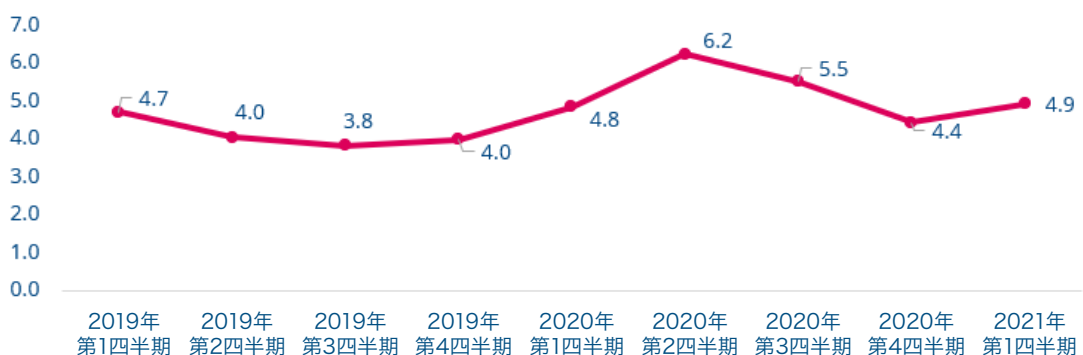
11 脚注4参照

12 脚注4参照

現在、若年労働者を中心に未開発の潜在的労働力の割合は依然として高く、コロナ禍でこの労働者集団の活用はより限定的になっている¹³。

2018～2019年の期間におけるベトナムの労働力未活用率は4.0%で推移している。2020年の労働力未活用率は5.02%で、2019年と比較して1.2ポイント増加し、61万4,000人以上の増加に相当する¹⁴。

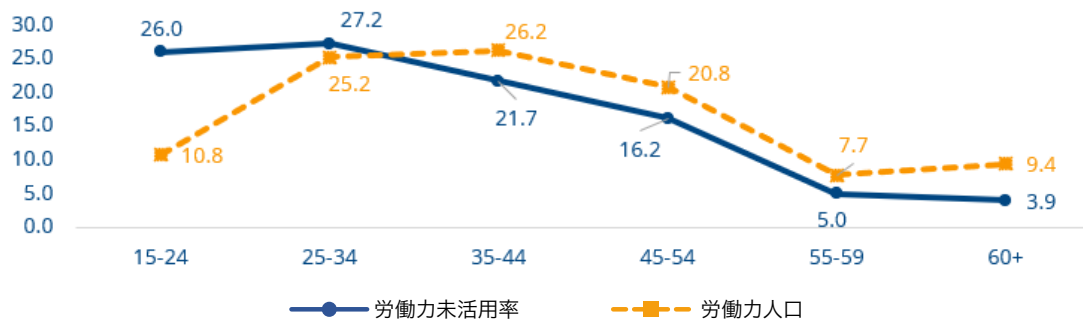
2019～2021年の期間の四半期別労働力未活用率



単位：%

出典：ベトナム統計総局 (GSO) (2021年)

労働力の年齢構成と労働力未活用率、2021年第1四半期



単位：%

出典：ベトナム統計総局 (GSO) (2021年)

13 ベトナム統計総局 (GSO) の定義に基づき、働く必要があるが十分な仕事がない労働者 (未活用労働者/労働力の未活用) には、失業者、不完全雇用者、求職中ではないが雇用可能な労働力人口外の者、または求職中だがすぐには雇用が得られない労働力人口外の者が含まれる。労働力未活用率とは、経済において雇用の必要性がある労働者全体に占める、働く必要があるのに十分な仕事がない労働者の割合で表される

14 脚注4参照

2020年の労働力未活用率は、都市部では農村部より高く（4.8%に対し5.5%）、女性労働者は男性労働者より高い（4.6%に対し5.5%）。潜在能力を十分に発揮できていない労働者の大半は35歳未満（56.5%）であり、この年齢層の労働力はベトナムの全労働力の36.6%を占めるに過ぎない。このことは、ベトナムには、特に若い労働者集団において、まだ多くの未開発の潜在的労働力があることを示している¹⁵。

2. 国際貿易と世界経済統合の力強い成長

グローバル化、ベトナムと地域の消費者階級の拡大、ベトナムが「強固な連結体」として機能する地域、地方、世界のバリューチェーンの発展により、新たな雇用とより価値の高い労働が創出されている¹⁶。

世界銀行によると、輸出はベトナムの雇用と賃金に大きく寄与している。2010年、輸出は製造業を中心に990万人の雇用に直接関与し、463兆ドンの賃金が支払われている¹⁷。2020年の財の輸出入総額は、2019年に比べて5.1%増の5,439億米ドルに達すると推定された。そのうち、財貨輸出高は2,815億米ドルで6.5%増、財貨輸入高は2,624億米ドルで3.6%増となった。2020年の物品貿易収支は191億米ドルの貿易黒字となり、過去に記録されているものの中で最大の貿易黒字となることが予想される¹⁸。

統合プロセスは、新たな貿易協定の締結によってさらに促進された。2018年、ベトナム政府は世界のGDPの13%を占める国々の貿易圏が参加する「環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定（CPTPP）」を批准した。2020年に限っても、ベトナムはEU・ベトナム自由貿易協定（FTA）、ASEAN10カ国とアジア太平洋地域の5カ国による地域的な包括的経済連携（RCEP）協定、英国ベトナム自由貿易協定（UKVFTA）という3つの貿易協定に調印している。貿易協定への参加は、ベトナムの市場アクセスを容易にし、企業が地域のバリューチェーンに統合されるための新たな機会を切り開くと同時に、透明性の促進、近代的な制度の構築、多くの分野での改革が期待されている¹⁹。

15 脚注4参照

16 World Bank, *Vietnam's Future Jobs: Leveraging Mega-trends for Greater Prosperity Overview*, 2018, available at <http://documents1.worldbank.org/curated/en/670201533917679996/pdf/129380-v2-WB-Future-Jobs-English-25-6-2018.pdf>

17 脚注16参照

18 Vietnam's GSO, *Export and Import in 2020: Efforts and Successes*, 5 January 2021, available at <https://www.gso.gov.vn/du-lieu-va-so-lieu-thong-ke/2021/01/xuat-nhap-khau-nam-2020-no-luc-va-thanh-cong/#:~:text=T%E1%BB%95ng%20kim%20ng%E1%BA%A1ch%20xu%E1%BA%A5t%20nh%E1%BA%ADp,%2C%20t%C4%83ng%203%2C6%25>.

19 脚注16参照

3. デジタル経済と自動化の進展

デジタル経済とは、「デジタル製品やサービス、あるいはそれらを支える機器・インフラの販売やサービスを主なビジネスモデルとするすべての企業やサービス」と定義できる²⁰。デジタル経済には、従来の経済とは異なる次のような特徴がある²¹。(i)あらゆるソースからのデータが、あらゆる民間および公的活動において価値の源泉となること、(ii)金融、輸送、製造、教育、医療などあらゆる分野で見られる情報通信技術 (ICT) 関連のハードウェアとソフトウェアの進歩、(iii) 新しいビジネスを可能にし、一方で既存のビジネスを破壊しうるデジタル・プラットフォームを通じた新しいビジネスモデル。例えば、フードデリバリー、サービスの注文、オンライン広告など。そして、(iv) 消費者の新たな役割と大きなエンパワーメント。

Google と Temasek (テマセク) が発表した「e-Conomy SEA 2019」というレポートによると、ベトナムのインターネット経済は 2015 年から年率 38% で急成長しており、2019 年には 120 億米ドルに達している。

Lazada (ラザダ) や Shopee (ショッピング) といった地域のプレイヤーと、Sendo (センド) や Tiki (ティキ) といった国内のマーケットプレイス、デジタル・プラットフォームが競合しており、E コマースはこうした成長の重要な推進力となっている。Tech Wire Asia によると、ベトナムは東南アジアでインドネシアとタイに次ぐ E コマースのリーダーとしての地位を確保している²²。直近では 2020 年に、ベトナムはファーストの 2020 年度 Global Connectivity Index (世界接続性指標報告書、GCI) でデジタル変革の 55 位にランクインしている²³。

デジタル経済の成長に加え、自動化や学習型ロボット、IoT、3D プリンターなどの新技術が、今、徐々にではあるものの、確実に雇用市場に浸透してきている。機械、ロボット、人工知能 (AI)、IT 技術は、世界でもベトナムでも職場において導入が始まっている。ベトナムでは、アプリが職場で使われ、機械が農場や工場で活用され、そしてエレクトロニクスのバリューチェーンは (衣料品に次いで) 2 番目に大きな海外直接投資 (FDI) の供給源となっている。世界銀行によると、自動化はベトナムの労働者を付加価値の低い仕事から解放し、より退屈でない、より付加価値の高い仕事に従事できるようにする可能性を持っている。また、プラットフォームは、低コストで市場へのアクセスを提供することにより、生産性のさらなる向上や小規模生産者の貿易、金融へのさらなる参入を促進する可能性を有する²⁴。

20 Commonwealth Scientific and Industrial Research Organization (CSIRO), *Vietnam's Future Digital Economy – Towards 2030 and 2045, May 2019, pg. 15*

21 脚注20参照

22 Ministry of Information and Communication, *Vietnam: Fastest-growing digital economy in Asia-Pacific, 4 February 2020, available at <https://english.mic.gov.vn/Pages/TinTuc/140619/Vietnam--Fastest-growing-digital-economy-in-Asia-Pacific.html>*,

23 Vietnamnet, *Vietnam ranks 55th in digital transformation, 8 February 2021, available at <https://vietnamnet.vn/en/sci-tech-environment/vietnam-ranks-55th-in-digital-transformation-710914.html>*

24 脚注16参照

III. ベトナムの若者の課題

前項で示したベトナムの若者の未来の働き方の傾向を踏まえ、若者が直面する主な課題を2つ挙げる：(i) 労働市場へのアクセスの狭小化と不安定化、(ii) スキルアップや再教育の必要性である。

1. 労働市場へのアクセスの狭小化と不安定化

自動化と新しいテクノロジーは、既存の労働を破壊し、今日私たちが知っている労働の概念を変える可能性があり、これこそ若者が適応しなければならないことである。例えば、オフィスに行かずに自宅で仕事をしたり、昔のように契約労働に加わるのではなく、独立して他人にサービスを提供しながら仕事をしたりする²⁵。また、長い目で見れば、人件費が増える一方で技術コストは下がるため、自動化や機械によって仕事が奪われ、人間が取って代わられる可能性がある。その結果、若者は求人数が減少するというリスクに直面することになる²⁶。

現在、より切実な問題として、若者はコロナによる失業問題に直面している。GSO の数多くの報告書や統計によると、ベトナムはコロナをかなりうまくコントロールしているにもかかわらず、感染拡大が起こるたびに国中の仕事に大きな影響を及ぼしている。前述したように、多くの人が余剰人員となり、中には労働時間の短縮、休暇や輪番休暇を余儀なくされたり、休職や一時的な事業停止を余儀なくされた人もいる。現段階では、コロナが完全にはコントロールされていないため、若者の労働の未来は不安定なままである。

2. スキルアップと再教育の必要性

教育へのアクセスの低さ、教育カリキュラムと市場の需要の不一致

2012年、ベトナムの高校生は生徒の学習到達度調査（PISA）において OECD の平均を大きく上回る良い成績を収め、ベトナムの教育の質の向上を示した²⁷。しかし、教育のカバー率や水準を考慮すると、ベトナムの若者は、ベトナムで台頭しつつある知識経済に十分対応できていない可能性がありそうだ。世界銀行によると、2015年までに、労働人口のうち大学教育を受けた者はわずか8%であり、85%は中等教育以下しか受けていない。そして少数民族は、教育やスキルの面で不利な立場にある。少数民族の成人のうち、職業教育や第三期教育を受けているのはわずか6%であるのに対し、キン族やホア族の成人では20%である²⁸。農村部の学生は、家族の資源が限られていること、デジタル・プラットフォームやデジタルスキル教育へのアクセスが限られていることから、さらなる課題に直面する可能性がある²⁹。

いくつかの教育機関では、学生が学校で履修するカリキュラムと職場で求められるスキルの間に不一致があると報告している。国際労働機関（ILO）によると、最近の労働者は過去

25 脚注16参照

26 脚注16参照

27 脚注16参照

28 脚注16参照

29 脚注20参照

に比べてより複雑なスキルセットを必要とし、仕事も手作業やルーチンワークから思考や知識重視のものになりつつある。かつての労働者には、読み書きを含む基本的な技能や特定分野の技術的知識が不可欠だったが、今日の労働者には、情報通信技術（ICT）やロボット対応の技術的スキルから知識まで、多様な技能や知識が求められ、付加価値全体では組立作業よりも大きな割合を占めている³⁰。手作業のスキルは、職業訓練を通じて教えられる設計、R & D（研究開発）、マーケティング、アフターサービス、ロジスティクス、垂直農法などの仕事に容易に連鎖することができるが、その他のソフトな「より現代的」なスキルは学校カリキュラムに含まれておらず、市場の変化や需要に対する学校の対応力は高くないようである。

デジタルとテクノロジーにおけるスキルアップ

国際労働機関（ILO）によると、ベトナムにおけるスキルアップの速度はデジタルの成長を上回るほど速くはない可能性があり、その結果、今後20年間で何百万人も未熟練労働者が自動化による高い転職のリスクにさらされる可能性がある³¹。例えばIT分野において、教育は通常新しいトレンドに乗り遅れるため、新卒者が技術に疎かったり、高い技術力を持っていない場合があるかもしれない。また、職場における知識の獲得と活用の能力も低い。したがって、このままの発展ペースでは、労働者はデジタル経済の中で新しい技術を開拓するだけでなく、新しい製品やサービスを生み出すための知識を受け取ることのできる人材が、近いうちに不足する可能性がある³²。

IV. 政策対応と提言

1. より多くの良質な雇用を創出し、起業家精神を支援する

経済が繁栄し、民間企業が奮闘すれば、若者の就職先やインターンシップの機会もより増えるだろう。ベトナムの場合、新たに大規模な外資系企業を誘致しながら、国内企業が成長しやすい環境整備を継続することが必要である。特に土地利用規制や税制など、生産面への国の規制を緩めなければならない。同時に、ベトナムはインプット市場を歪める介入の度合いにさらに注意を払い、肥料、石炭、電力、ガス、通信、水道、保険など一部の産業における独占的な地位を調整する必要がある。

若者に関して、教育は学問的なコースと職業訓練に分けられるべきで、実地訓練は、教室での指導で蓄積された知識を仕事上の文脈で実践し理解する機会を提供するものである。関連分野のインターンシップは、若者がキャリアについて学び、ネットワークを築き、将来職場で活躍するために必要な経験を積むのに役立つ。また、インターンシップは、若者が特定の職業について好きなことや嫌いなことを探ったり、特定の環境、仕事、管理方法に自分が適合できるかどうかを確認する機会にもなる。このようなインターンシップに応募すること

30 ILO, *Skills and the Future of Work: Strategies for inclusive growth in Asia and the Pacific*, 2018, available at https://www.ilo.org/wcmsp5/groups/public/@asia/@ro-bangkok/@sro-bangkok/documents/publication/wcms_650239.pdf, pg. 184.
または脚注16参照

31 脚注20参照

32 脚注20参照

で、若者は雇用市場に参入する上で関連するスキルを身につけることができる。また、インターンシップは、卒業後の就職につながる場合もある。

ベトナム政府と若者支援組織は、若者を質の高い仕事を結びつけるために重要な役割を果たすことができる。例えば、雇用主と協力して、国内だけでなく、インターネットや革新的な技術によって世界のほとんどの場所からリモートで働くことが可能になった海外からも、若者にインターンシップや実習の機会を提供できる。

社会起業家精神は、若者の未来の働き方を考える上でもう1つの重要なテーマである。社会起業は、若者たちに自分や他人のために仕事を創出し、より良い未来を自分たちの手で確保する機会を提供する。また、柔軟性や技術への素早い適応といった特性を持つ若者は、特にスタートアップ企業の設立や維持に適している。残された課題は、若者の起業家精神を促進し、スタートアップ企業が努力できる環境を整え、社会的責任の重要性について若者を教育することである。ベトナムは、国際機関と協力し、スキルを重視した教育改革や若者に対する社会起業家精神の促進を進めている。ユニセフ・ベトナム事務所は2017年から社会起業を実施し、Saigon Innovation Hub (SIHUB)³³などの政府パートナーとのプログラムに2万3,000人以上の若者が参加している。ユニセフ・ベトナム事務所とSIHUBのコラボレーションの一つとして、政府や民間企業のパートナーを巻き込んで若者に機会を提供する「Youth Led Innovation Lab」の立ち上げがある³⁴。このラボでは、Generation Unlimited Youth Challengeを開催し、若者が応募してデザインを考えるワークショップに参加し、選ばれた若者が開業資金とメンター支援を受けるというものである。このGeneration Unlimited Youth Challengeから生まれた優れた取り組みの一つが「Pathfinder」である。これは、IT学生をユーザーや採用担当者と結び付け、彼らのスキルアップを可能にするオンラインプラットフォームである。このプラットフォームの機能には、スキルアップのためのロードマップや、求人に応募するためにユーザーのプロフィールや履歴書を更新する機能が含まれている。また、IT分野に特化し、メンバーがコードやプロジェクトを共有することで、ユーザー同士が学び合い、採用担当者にコーディングサンプルを提示するためのコミュニティを構築することを目指す。

33 UNICEF and Saigon Innovation Hub incubate socially innovative ideas on Climate Action from adolescents and youth, UNICEF's Press Release: <https://www.unicef.org/vietnam/press-releases/unicef-and-saigon-innovation-hub-incubate-socially-innovative-ideas-climate-action>

34 Vietnamese students create a skills development platform to connect IT market and young people, UNICEF's Article: <https://www.unicef.org/vietnam/stories/vietnamese-students-create-skills-development-platform-connect-it-market-and-young-people>

2. 若者のスキルに投資する

ベトナムは、自営能力と労働市場の急激な変化に対応する能力に焦点を当てて、若者育成の戦略を再定義すべきである。教育カリキュラムや研修プログラムを改善するために、以下のようなことが考えられる：

- 政府は、若者支援機関、学校、企業、生産施設と連携し、労働市場のニーズを把握・更新し、そこから市場の需要に見合った研修プログラムの内容に調整・改善する必要がある。
- 雇用主は、学校と連携してニーズに応じた研修プログラムを作成し、「就職説明会」やセミナーを開催して学生に仕事を紹介し、若者が選択できるキャリアパスを公開する必要がある。
- 学校は、キャリア支援やインターンシップのために官民と連携し、若者の卒業後の就職を支援するキャリアカウンセリングセンターを設置し、若者とともに研究活動を展開し、学術的な関連スキルを身につけられるようにする必要がある。学校での教育は、労働市場で必要とされているものと一致しなければならない。また、学校は、プログラムの内容や方法の見直し、設備投資、有能な講師陣の形成、国内外の組織との連携による学生の海外交流・留学・就労の機会の創出など、一貫して研修の質を向上させることが求められる。

テクノロジーの発達により、世界中の権威ある教育機関からリモートで知識や技術を得る機会が増えた。このようなチャンネルをうまく活用すれば、ベトナムの若者、特に経済的な理由で海外留学の条件が整っていない若者にとって、教育の躍進をもたらすことができる。Coursera、Udemy、EdXなどのサイトでは、コーディング、ビジネス、データサイエンスなど、ほぼすべての科目のオンラインコースがある。これらの講座の多くは、修了証は有料だが内容は無料である。若者はこのようなチャンネルを簡単に利用し、自身をスキルアップさせ、グローバルな教育水準に遅れをとらないようにすることができる。一方で、政府は慈善家や財団、企業などと連携して、若者向けの資格取得に補助金を出し、資格取得の機会を増やすことで、若者たちが経済的な競争に勝ち抜き、貢献するために必要な手段を手に入れることができる。

若者の興味のある職業に関連した技術スキルのほかに、ソフトスキルも非常に重要であり、より多くの場合、仕事を成功させるために最も重要であると認識されている。ソフトスキルは、以下のような様々な手段で習得することができる：

- 授業での指導：学校や教育機関は、人前で話すことやコミュニケーション、心理学などの授業を行い、ソフトスキルのトレーニングをカリキュラムに組み入れるべきである。授業に関連した教材は、プリントやウェブサイト、SNSを通じて若者に公開される。
- メンタリング：人生経験が豊富な大人がメンターになることは、ソフトスキルを伸ばす上で最適な方法である。メンターは、その成長過程において若者を導き、ライフスキルを教え、長所や改善点、就職に有利な分野などに関するアドバイスを提供できる。また、若者の自尊心を育み、対人関係を改善する手助けをすることもできる。
- ボランティア活動：ボランティアは、より大きな利益のために働き、個人的な利益をほとんど得ることなくチームプレーヤーとなる、という若者の視点を養うのに役立つ。ボランティア活動の内容によっては、チームワーク、文書や口頭でのコミュニケーション、

専門的技術、さらには将来のキャリアに関連する技術的スキルなど、貴重なスキルを学ぶことができる。

- ユースプログラム、課外活動：スポーツ、ドラマ、演劇への参加や、執筆、絵画、音楽などの創作活動など、あらゆる活動が含まれる。若者が関心のある活動に取り組み、これらのスキルを身につけるよう奨励することで、目標に向かって勤勉になること、スキル向上の過程で忍耐強くなること、より良い結果を得るために他者と協力することなどを学ぶことができる。課外活動によって、職場に入り成功するために必要な資質を身につけることができる。

若者育成のためのアジェンダやプログラムにおいて忘れられがちな側面の一つに、倫理と誠実さが挙げられる。これは、若者が社会の責任ある一員として成長し、その社会をより住みやすい場所にするために非常に重要なことである。Vietnam Youth Integrity Survey (YIS2019)³⁵ という印象的な調査により、ベトナムの若者の汚職や非倫理的活動に対する認識が曖昧で、若者が汚職の被害者であると同時に現状維持の味方でもあることが示された。本調査によると、大部分の若者は何が正しくて何が間違っているのかについて明確な考えを持っているが、それでも特定の社会的文脈では自分の原則を妥協する用意があるように見える。医療における少額の賄賂といった汚職の状況は、調査対象となった若者のほぼ半数が受け入れている。若者の約3分の1は、金銭的な利益を得るためなら不正行為や汚職に手を染めることも厭わないと答え、約16%は家族や友人と連帯するためなら法律を破ってでも行動すると答えている。38%の若者は良い学校に入学するためなら不正を行うことを厭わず、33%は望ましい仕事に抜擢されるためなら不正行為に手を染めることに同意するという。

ベトナムの汚職は常に蔓延しており、その対策として数々の解決策やプログラムが提案されているにもかかわらず、長い間続いている。トランスペアレンシー・インターナショナルによると、2020年の腐敗認識指数(CPI)では180カ国中104位で、調査対象者の64%が政府の腐敗は大きな問題であると考え、公共サービス利用者の15%が過去12ヵ月間に賄賂を支払ったことがある(アジア地域の本割合は約20%である)としている³⁶。腐敗は、司法制度、警察、公共サービス、土地行政、公共調達、医療、教育など、主要な制度や部門に浸透している。

35 2019 Vietnam Youth Integrity Survey (YIS 2019), Towards Transparency, access at: https://auschamvn.org/wp-content/uploads/2019/09/YIS-2019_Executive-Summary_EN.pdf

36 Transparency International: <https://www.transparency.org/en/countries/vietnam#>

労働市場の中では、公共部門において就職の機会を得るための賄賂が一般的である。国連開発計画（UNDP）が推奨する「統治・行政・管理効果指数（PAPI）」の2020年版報告書によると、以前に比べて多少の改善は見られるものの、回答者の約40%が公共部門での職を得るために賄賂を支払わなければならないと答え、回答者の60%以上が公共部門での職に就くために当局との個人的な関係が重要または非常に重要と考えているという³⁷。

汚職は、負の経済パフォーマンス、非効率的な事業運営や投資、税収の減少や政府の財政支援の非効率性、失業率の増加や不平等と関連しており、これらはすべて若者に大きな影響を及ぼしている。また、世界銀行の調査によると、賄賂を払って職を得ることを奨励すると、有力な候補者の排除や労働力の「最適でない」配分につながり、最終的に、若く教育を受けた求職者の失業率が上昇することが分かっている。このような慣行を放置すれば、労働者はそれに従うか、非公式部門に転向せざるを得なくなるだろう³⁸。ベトナムの場合、このような慣行によって、若く教育を受けた人々は民間企業に職を求めるようになり、公的部門は「頭脳流出」問題と無駄が多く凡庸なシステムを抱えたままになっている。一方で、賄賂を贈る余裕のない低学歴の若者は、非公式部門に転落するか、派遣の仕事を受け入れるしかない。また、実力ではなく、その実力を蓄える努力でもなく、物質的な手段や人間関係で仕事を得ることが可能であることも、学習やスキルアップを継続するインセンティブを低下させる。その結果、労働の質と生産性が低下する。

汚職にはさまざまな要因があるが、その一つは、人々が汚職を生活の一部として受け入れ、短期的な個人的利益のためにそのようなシステムに従うことを望んでいることである。このような態度はベトナムの若者にも及んでおり、誠実さを保ち、正しいことをすることの意味を疑うようになっている。若者が誠実さを信じず、守らないという事実は、国の将来に重大な影響を及ぼす。そのため、誠実さは教育における優先事項でなければならない。ベトナムが若者の倫理教育に真剣に取り組み、大人が模範を示して指導しない限り、より安定した公正な社会へと発展することはできないのである。

3. 若者のためのキャリアサービスやアドバイスに投資する

就職活動は誰にとっても困難なものだが、特に若者にとっては経験の少なさが大きく影響する。どのようなキャリアがあり、どのようなことに興味があり、どのようなスキルを持っていて、あるいは伸ばす必要があるのかなど、彼らが判断し、決断しなければならない要素は数多くある。そのため、若者が自分の興味やスキルを知るだけでなく、就業経験を積み、雇用機会について学ぶためのキャリアサービスやプラットフォームを提供することは、若者の未来の働き方を改善する上で非常に重要なことなのである。

37 Provincial Governance and Public Administration Performance Index (PAPI) 2020, CECODES, VFF-CRT, RTA & UNDP (2021), accessed at: <https://papi.org.vn/eng/bao-cao/?lang=en>

38 Dynamic Relationship between Corruption and Youth Unemployment: Empirical Evidences from a System GMM Approach, Bechir N. Bouzid 2016, Policy Research Working Paper, accessed at: <https://openknowledge.worldbank.org/handle/10986/25158>

ベトナムの若者の多くは、いまだキャリアの方向性が明確でなく、興味のあるキャリアパスに対してどのようにスキルを伸ばし、向上させれば良いのかが分かっていないのが現状である。若者が興味のある職種にアクセスできるプラットフォームがあれば、必要な情報を集約し、若者が様々な機会を認識できるようになり、非常に大きな助けとなるだろう。そのようなプラットフォーム上に含まれる情報には、以下のようなものがある：

- 職種別の最新情報（内容、給与、福利厚生、キャリアパスなど）
- 教育と研修の機会
- 職探し的手段、履歴書、面接の資料
- 若者が自分自身の興味や能力を探求するための評価やツール、および
- キャリアカウンセリング、その他の支援サービス

若者に対しキャリアアドバイスをするもう一つの方法は、メンター制度を設けることである。メンターは通常、人生経験が豊富な大人で、若者のキャリア目標を達成するためのサポートや指導を提供することができる。メンタリングでは、以下のようなテーマを扱うことができる：

- キャリアへの興味と照らし合わせて、可能性のあるキャリアを探索する
- キャリアプランと目標設定
- インターンシップや職探しのサポート
- 履歴書やカバーレターの書き方、模擬面接の実施
- ソフトスキルと技術スキルの両方に重点を置いた仕事上のスキルの開発
- 職場における行動、態度、またはスキルのモデル化

4. 労働法、契約上の権利、義務に関する意識の向上

一般に、ベトナムの労働者は労働法、契約上の権利や義務について十分な知識を持っておらず、それが雇用主からの侵害や搾取、労使間の紛争に繋がっている³⁹。そのため、雇用者が労働権を保護し、生産性を向上させることができるよう、労働法に関する雇用者の意識を向上させることが必要である。これは、以下のような方法で実現できる：

- 労働法の普及と情報提供に責任を持つ政府関係者の研修と再研修を推進する
- 雇用者が労働法について最新の情報を得られるよう、最新の法律文書を定期的に更新し広める
- 労働法の普及と研修活動に雇用主を参加させる
- マスメディアやソーシャルメディアを利用した法律の普及の効果を高め、普及活動における情報技術の利用を増やし、労働者向けのセミナーや演劇大会などを通じて法律の普及活動を統合する
- 労働法を厳格に遵守するよう雇用主を審査・要請し、労働法に違反した雇用主には制裁

39 Vietnam Lawyer Journal, Improve legal awareness for employees: <https://lsvn.vn/tang-cuong-tuyen-truyen-phap-luat-cho-nguoi-lao-dong-trong-doanh-nghiep.html>

- を加え、業績の良い雇用主には速やかに報奨を与える
- 雇用者と雇用主の間の組織方針における対話を強化する
- 組織内の労働組合の意識と活動を向上させる

5. 適切な福祉・社会的保護制度の提供

若者に対しては、教育とディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）の機会を提供し、大人になってからも活躍できるようにすることが重要である。しかし、不確実性が高く、労働の機会が不足している時代には、排除のリスクに対処するために、社会的セーフティネットを提供することも同様に重要である⁴⁰。これは、政府が適切な保護を与えなければ、人々が労働市場から貧困に転落する可能性が高くなる状況をコロナが作り出している現在、よりいっそう重要である。若者の社会的保護を提供する上で、以下のことを考慮しなければならない：

- 失業補償：若者は他の年齢層よりも失業や不完全雇用に対して脆弱である。しかし、大部分の社会保護制度は正規の職歴に基づく保険料支払を必要とするため、失業保険や健康保険など若者が受けられる給付は、彼らの年齢や労働市場への参加期間の短さを考えると少ない傾向にあり、言うまでもなく、彼らの多くは非公式部門で働いているためこれらの制度から完全に排除されている。したがって、社会保障制度の設計や改革を行う際には、非公式部門の若年労働者のニーズを考慮し、失業時に十分な給付を受けられるよう、若者に特別な注意を払う必要がある。
- 保健医療への普遍的なアクセス：ベトナムは、国民（その中には若者も含まれる）に安価で質の良い保健医療への普遍的なアクセスを適用する計画を加速させるべきである。保健医療へのアクセスは、一連の中核となるサービスを網羅し、性と生殖に関する保健医療を含め、若者が直面する健康リスクに対処するものであるべきだ。
- 社会的保護制度に関する若者の意識の向上：社会的保護に関する若者の意識を向上させるプログラムとイニシアチブに焦点を当て、特に若い雇用者と学生に対する、病気休暇の適用、出産、リハビリテーション、社会保険受給の条件と手続き、任意加入社会保険の対象、支払率、支払方法、給付、健康保険の支払水準、支払方法、給付などの重要なテーマを取り上げる。

40 Promoting the inclusion of young people through social protection, Social development Brief #5, Division for Social Policy and Development, United Nations Department of Economic and Social Affairs, accessed at: <https://www.un.org/development/desa/dspd/wp-content/uploads/sites/22/2018/04/RWSS-Policy-Brief-5.4.pdf>

